

# 1間は六尺五寸？

1間は六尺、1.8mでしょう。確かに間違いではありませんが、これには変遷の歴史があります。戦国時代の三大天下人と「検地」とのかかわりが深いのですが、最初の天下人「織田信長」の時代は1間を六尺五寸で領地を計っていました。

「豊臣秀吉」は有名な「太閤検地」を実施し、全国の農地を直接検地させました。この際1間を六尺三寸と定め、当時使った検地尺が今も残っています。

「徳川家康」はさらに年貢米を多く徴収するためでしょうか、1間を六尺と定めて検地させました。

現在の京間(1.909m)、江戸間(1.757m)はその名残りともいえます。(現在、一般的に記憶されている数値は中京間の1.818mです)



織田信長 さしだし 指出検地

1間 = 6尺5寸



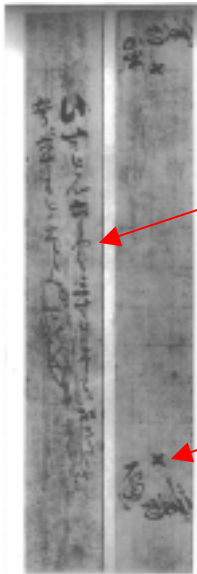
豊臣秀吉 太閤検地

1間 = 6尺3寸



徳川家康 備前・石見検地

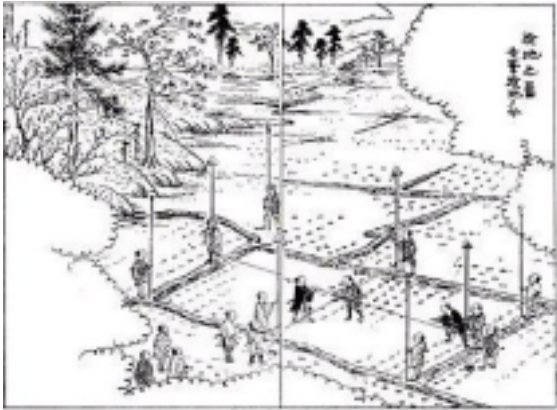
1間 = 6尺



太閤検地尺

六尺三寸を1間とする旨の記載

石田光成のサイン



検地の図